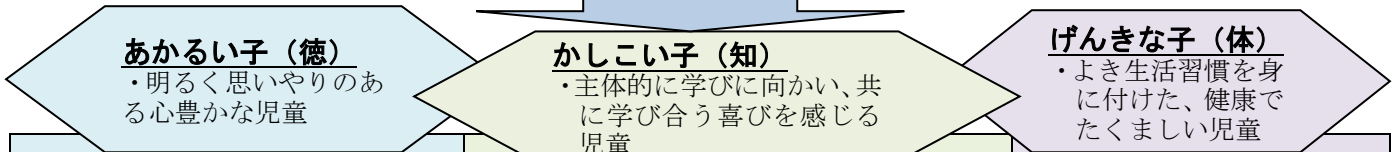
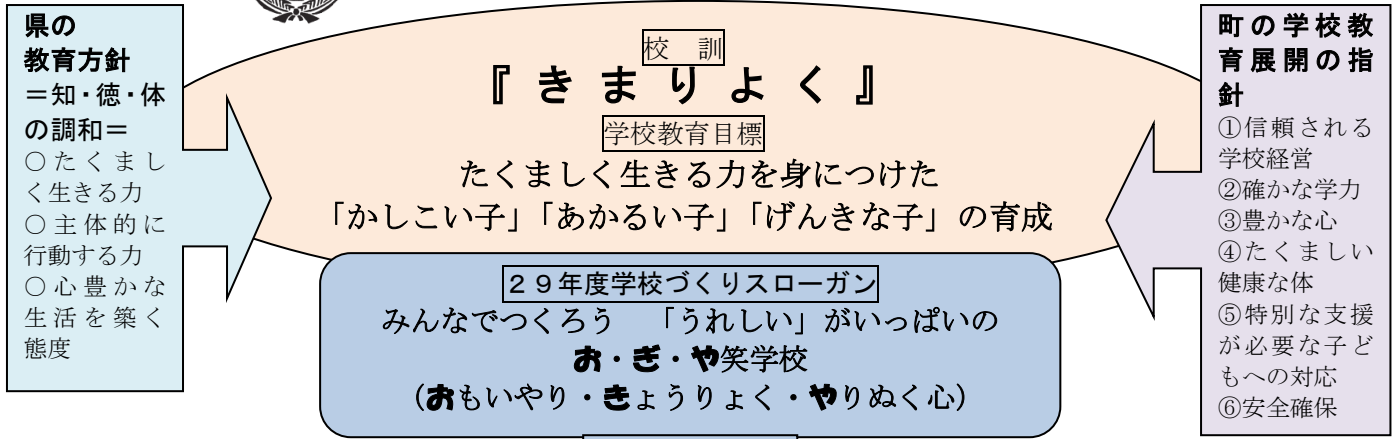




平成 29 年度 荻谷小学校の教育



●豊かな心を育むために

①共感的人間関係に基づき、規律と主体性を育む子ども文化の創造と、学校環境づくり

- ・「お・ぎ・や」を意識した教育活動の展開
- ・「気づき 考え 実行する」児童会活動の活性化
- ・感性を育む学校行事の充実
- ・集会活動の充実
- ・つばきの活動（マーチング、チャレンジ）の継承
- ・「みどりのチーム」による異学年交流（芝生アート、春の遠足、サツマイモの栽培と収穫、全校レクリエーション、縦割り清掃）

②豊かな心情の育成と道徳的実践力を培う道徳教育の充実

- ・全校読書タイムの充実
- ・全教育活動による思いやりの心を核とした道徳教育の推進と「道徳の時間」の充実
- ・福祉実践教室の実施

③心の教育の推進

- ・温かい学級づくり
- ・スクールカウンセラーの活用
- ・人権教育・キャリア教育の推進
- ・情報モラル教育の推進

●確かな学力を育むために

①子どもが主役の授業づくり（分かる・できる授業、楽しい授業の構築）

- 『教室コミュニティ』を基盤として、仲間とつなぎ合い、高め合う学びの過程を重視
- ・子どもに寄り添い、協同して問題解決を目指す単元の構想
- ・「感性や問題意識を高める活動」の設定
- ・柔軟な発想で授業形態を工夫
- ・言語活動の充実による言語能力の育成
- ・つながりを重視した話し合いの場の設定

②学習指導要領の内容をふまえた学習指導

- ・理数教育の充実、英語（外国語活動）の充実、キャリア教育の推進、E S D等

③指導法の工夫と改善

- ・少人数指導（3～6年算数）ティーミング（1・2年算数）による個性に応じたきめ細やかな指導
- ・特別支援教育、通級指導や日本語適応指導による個に応じた学習支援

④確かな学力の評価

- ・子ども一人一人のよさを認め、個性を引き出し、伸ばす評価
- ・やる気を起こさせ、こつこつと粘り強く努力をさせる支援

⑤学習習慣の確立

- ・家庭と連携し、授業と関連させた家庭学習の習慣化

●健康でたくましい体を育むために

①「すこやかタイム」を生かした適応力を高める体力づくり

- ・ランニングと多様な運動のバランス良い導入
- ・個々の目標を設定しての継続的な運動
- ・楽しみながら取り組む全校すこやかタイムの導入
- ・長放課での外遊びの促進(遊びを通じた体づくり)

②行事等の活用

- ・体力増進と仲間意識の高揚を図る学区大運動会やマラソン大会等の充実
- ・子どもの実態や課題に即した学校保健委員会の推進

③食育の推進

- ・望ましい食習慣の形成につながる食育の促進

④安全・防災教育の充実

- ・安全への意識を高める日常的な交通安全指導や計画的な防災訓練等の実施

●あたりまえのことがあたりまえにできる日常
・校訓「きまりよく」の下で規律ある生活・行動の確立

地域・家庭に信頼される開かれた学校

情報の発信と啓発

●家庭・地域と手を携えて

①地域や人との関わりから地域を愛する子どもの育成

- ・地域の「ひと・こと・もの」を生かした総合的な学習の時間（とぼね学習）

②家庭・地域との協力による信頼される学校づくり

- ・月1回の参観日、道徳・情報モラルの授業の年1回公開
- ・家庭教育学級
- ・親子活動（わくわくワーク）
- ・おやじの会
- ・読み聞かせボランティア
- ・学習ボランティア
- ・緊急メールによる情報発信
- ・幼保中との連携
- ・学校安全ボランティアによる安全パトロール
- ・芦谷安心見守り隊
- ・子ども会活動
- ・コミュニティ事業
- ・児童クラブ
- ・子ども110番の家への協力
- ・災害時の全児童の引き渡し
- ・学年・学級だより、保健だより、PTA新聞、HPによる教育活動の発信
- ・学校評価の実施